

ED Beta PRO 9000



- EDV-9000の主な仕様
- 録画方式：回転2ヘッドヘリカルスキャン方式
 - 録音方式：ベータハイファイ方式
 - 映像信号：NTSCカラー、EIA標準方式
 - 使用カセット：**ED Beta** または **EB** マークのついたビデオカセット
 - テープ速度：**EB** II 2.00cm/秒、**EB** III 1.33cm/秒
 - 最大録画・再生時間：**EB** II 200分、**EB** III 300分ビデオカセットL-830使用時
 - 早送り・巻戻し時間：約3分30秒ビデオカセットL-500使用時
 - 音声周波数特性：20Hz～20kHz（ベータハイファイ「入」、MPXフィルター「切」）
 - 音声ダイナミックレンジ：90dB（ベータハイファイ「入」）
 - 音声ワウ・フラッター：測定限界以下（ベータハイファイ「入」）
 - 受信方式：PLL同期検波方式
 - 受信チャンネル：VHF（1～12ch）、UHF（13～62ch）、CATV（C13～C35ch）
 - アンテナ入・出力端子：VHF：75Ω F型コネクタ、UHF：300Ω 平衡型ねじ式ターミナル、アンテナ分配器内蔵
 - 映像入力：ピンジャック（1）×2系統
 - 映像出力：ピンジャック（1）×2系統
 - 音声入力：ピンジャック（2）×2系統
 - 音声出力：ピンジャック（2）×2系統
 - S映像入力：4ピンミニDin × 2系統
 - S映像出力：4ピンミニDin × 1系統
 - コントロールS入力：ミニジャック（1）
 - コントロールS出力：ミニジャック（1）
 - カメラリモート入力：特殊ミニジャック（1）
 - カメラリモート編集出力：特殊ミニジャック（1）
 - コントロールL：5ピンコネクタ（1）
 - コントロールT：ステレオミニジャック（1）
 - マイク入力：ミニジャック（1）
 - ヘッドホン端子：ステレオミニジャック（1）
 - 時間同期方式：電源周波数同期型
 - 時刻表示：12時間表示
 - タイマーセット：録画専用3週8プログラム
 - 電源：AC100V、50/60Hz
 - 消費電力：65W
 - 外部コンセント：非連動（1）、連動/非連動（1）
 - 動作温度：5°C～40°C
 - 大きさ：470（幅）×151（高さ）×420（奥行）mm サイドウッド付
 - 重さ：15.3kg

Beta 録画・再生について●このビデオはベータ方式のビデオです。**EB** マーク・**ED Beta** マークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。**ED Beta** マークのついたビデオカセットテープは、**ED Beta** マークのついていないビデオでは再生できませんのでご注意ください。●**EB** I・**EB** IIモード（テープ速度：4.00cm/秒）、**EB** IIモード（テープ速度：2.00cm/秒）、**EB** IIIモード（テープ速度：1.33cm/秒）で録画したテープは、それぞれの再生モードのないビデオでは再生できませんのでご注意ください。●ビデオカセットテープL-830、750、660タイプは**EB** マークのついたビデオのうち **EB** マーク付でのみ使用可能。■ハイバンド（映像）と従来方式の関係●従来方式のビデオで録画したテープの映像は、従来方式のまま再生されます。●ハイバンドビデオで録画したテープは従来方式のビデオで再生できますが、映像に若干ノイズが出る場合があります。■ベータハイファイ（音声）と従来方式の関係●従来方式のビデオで録画したテープの音声は、従来方式のままステレオはステレオで、二重音声の場合は主、副音声を選んで再生できます（BNRなし）●ベータハイファイ方式で録音したテープは、従来方式のビデオで再生できます。（音声はベータハイファイ方式でなく、モノラルとなります。）●あなたが実演や興行、展示物などを撮影したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。なお、実演、興行、展示物などのうちには、これらの主催者（管理者）が、会場等の管理権に基づき、個人として楽しむなどの目的の撮影であっても、制限している場合がありますのでご注意ください。●あなたがテレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。●カタログと実際の製品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。●お買上げの際には製造番号をご確認ください。●このカタログに掲載されている商品が地域により品薄の場合もありますので、販売店におたしかめの上お選びください。●ビデオデッキやテープ、ビデオカメラなどを使用中、万一これらの不都合により録画されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。◎は㈱日本電子機械工業会が定めた音声多重のシンボルマークです。Ⓢはビデオやオーディオ機器とのシステム展開を考慮した、ソニーの新しいリモンです。

●この商品には保証書がついています。お求めの販売店で所定事項を記入した保証書を必ずお受けとってください。

ソニー株式会社
ショールーム
〒141 東京都品川区北品川6-7-35
東京/銀座数寄屋橋ソニービル
大阪/南区心斎橋筋ソニータワー
お客様ご相談センター
東京/(03) 448-3311
大阪/(06) 251-5111
名古屋/(052) 232-2611

このカタログの内容について、詳しくお知りになりたい方は、お近くのソニー商品販売店におたずねになるか、当社のお客様ご相談センターにお問合せください。

SONY

ED Beta PRO 9000

EDベータ・ビデオデッキ
EDV-9000 ¥295,000
(ワイヤレスエディターRMT-163、サイドウッド付属)



9.3MHzに達するハイバンド化とメタルテープの採用、そして新開発テープスタビライザー機構など様々な高画質技術の投入により水平解像度500本以上の鮮明画像を実現。さらにプロ感覚の編集機能やデジタルピクチャー機能も一層充実。ソニー・ビデオテクノロジーの頂点をお届けします。EDベータの第1号機、EDV-9000新登場。



'87.9
カタログの記載内容：1987年9月現在

Sony Credit
よい品を手軽に分割払いで
ソニークレジット



人が、はじめて見る美しさです。

同じソフトでも数段クオリティの高い画像で見るとずいぶん印象が違ってきます。いままで見えなかった世界が鮮明になるのですから新しい発見が生まれます。新鮮な驚きもあるでしょう。感動もより大きくなるかもしれません。1985年のハイバンドベータマックスの発表以来、ソニーが一貫して家庭用ビデオの高画質化にこだわってきたのも、実はこうした理由から。今回発表するEDベータの第1号機EDV-9000はこの高画質化のポリシーを忠実に継承し、さらに大きな発展性もこめて開発したモデルです。9.3MHzにも達する大幅なハイバンド化と家庭用1/2インチビデオとしてはじめてのメタルテープの採用そして高性能TSSヘッド、新開発テープスタビライザー機構など、様々な高画質技術の複合化により水平解像度500本以上を達成。これまでのビデオの常識をはるかに超えた鮮明画像を実現しています。その結果、①大画面テレビで見ても驚くべきクオリティを発揮する。②テープ編集に利用してもプロの水準に肉迫する劣化の少ない画像が得られる。さらに、③話題の衛星放送や2年後に開始予定の新放送システムEDTV (Extended Definition TV)の高画質もそっくり記録できる、といった優れた特性を獲得しました。現在の高画質ソースから将来の高画質メディアまで。人が見るはじめてのクオリティで描き出します。ソニーEDベータ。

ED Beta



EDベータについて お答えします。

※テレビ画面はハメコミ合成しています。

ED Beta



解像力は?
表現力は?
編集特性は?
音質は?
機能は?

ビデオの画質を判断するのに最も利用される尺度が水平解像度の本数。EDベータの場合、500本以上のハイスペックを達成しています。現行の放送システムが約330本、レーザービジョンが400本前後であることから、そのクオリティの高さが想像いただけると思います。

白から黒への濃淡の表現力を決するのがS/N比。EDベータではこのS/N比を左右する周波数偏移（デビエーション）を2.5MHzまで大幅に拡大。水平解像度500本の解像力とあいまって、ハーフトーンの微妙な階調もより正確に再現することができます。

EDベータの高画質は編集をかさねても劣化がほとんど気になりません。2回目の編集を経たテープ（孫テープ）でさえ、ハイバンドとはほぼ同程度のクオリティ。まさに本格的なビデオ編集時代に対応した高画質と言えるでしょう。

EDベータに搭載したテープスタビライザーは音質向上にも大きな貢献を果たしています。テープの微妙な振動などによる変調ノイズを大幅に低減。ベータハイファイサウンドがさらにブラッシュアップされました。しかも大型電源、極太・硬質コードも採用し、一段と純度の高い新しい時代の高音質を再現します。

EDV-9000には昨年発表したベータプロ3000の多彩な機能群をほぼそっくり投入。とくにマニアの方に評価の高かった編集機能に関しては、プリロール編集、ツインフライングイレースヘッドなども装備し、ハイグレードなテープ編集が可能になっています。またデジタル機能も8ビットマイコンの装備で、鮮明さを一段と増しました。

ED Quality

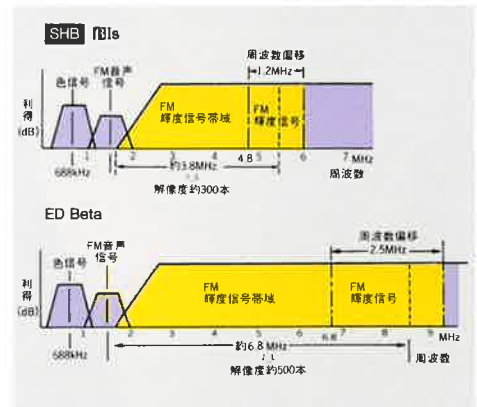
水平解像度500本の鮮明画像。驚異的とも言える高SN設計。そしてほとんど劣化が気にならない素晴らしい編集特性を実現。これがEDベータ・プロ9000のクオリティ。

1985年、ソニーがハイバンドベータマックスを発表して以来、時代の潮流ははっきりと高画質化へ向っています。例えば、大画面・高性能テレビやレーザービジョンなど高画質AV機器の登場。そして、話題の衛星放送や新放送システムEDTV (Extended Definition TV) の開始など。ことに2年後に迫ったEDTVでは水平解像度約480本の高画質放送が予定されています。これら現在の高画質ソースから将来の高画質メディアを前にして、ソニーはひとつの決断を下しました。「ビデオ史上に残る最強の1/2インチビデオを創ろう。」——こうして生まれたのがED (Extended Definition) ベータフォーマットです。9.3MHzに及ぶ驚異的なハイバンド化を中心として、家庭用1/2インチビデオとしては初めてのメタルテープの採用、安定したテープ走行を生むテープスタビライザー、そして、Y/C分離端子の装備など、ソニーの持てるあらゆる高画質技術を結集。その結果、従来テープとの互換性を保ちながら、高解像度、高SN比、さらに編集特性も優れた、真正銘の鮮明画像を実現したのである。来るべき時代の新しい高画質メディアとして、いま、EDベータフォーマットは高画質の規準をはっきりと変えました。

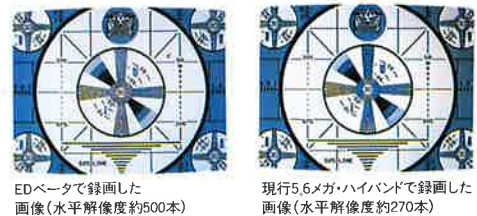
（ハイバンド思想をさらに深化。水平解像度500本以上）を達成した9.3メガ・ハイバンド。

見えるものをありのままに。いやそれ以上に空気感さえ描ききる高画質を目指して。ソニーはベータマックスで一貫してピュアビジュアルの世界を追求してきました。その高画質化のキーワードは、いうまでもなく「ハイバンド技術」。今回のEDベータフォーマットでもより一層のブラシュアップがはか

生み出す相対速度の大きさを生かして、輝度信号シフトアップの限界に挑戦。実に白ピークレベル9.3MHzのハ



イバンド化を達成し、記録できる映像情報を飛躍的に高めたのです。その結果、EDベータは、現行の放送システム (水平解像度約330本) やレーザービジョン (同約400本前後)、さらにはEDTV (同480本前後) をはるかにしのぐ、水平解像度500本の鮮明画像を実現しました。その実力は、誰れもがひと目で違いのわかるもの。肌の微妙なニュアンスからシャンパンからはじける飛沫のひとつひとつまで圧倒的なリアリティで描き出します。またEDベータはテープ編集を重ねても優れた特性を発揮します。例えば2回の編集を経たテープ (孫テープ) でさえハイバンドの画質とほぼ同等のクオリティを誇るほど。本格的なビデオ編集時代にも対応する高画質ソースの誕生と言えるでしょう。



（濃淡の表現力が飛躍的に向上。高SN比を実現した）ワイド周波数偏移 (デビエーション)

圧倒的な解像力を誇るEDベータ。しかし単に解像力だけが高画質の条件ではありません。画質を決めるもうひとつの重要なファクター。それがSN比です。ビデオのSN比とは白から黒までの表現力を意味します。つまり、ハーフトーンの微かな階調などは、いくら解像力が高くてもSN比が悪ければ正確に映し出すことは困難なのです。そこでEDベータフォーマットでは、ハイバンド化をはかる一方で、このSN比を決定づける周波数偏移 (デビエーション) を2.5MHzへと拡大 (従来ベータ方式1.2MHz)。その結果、解像度があがると通常は下がるSN比を3dBも向上。水平解像度500本以上の解像力とあいまって、鮮明で表現力豊かな映像美を実現しています。

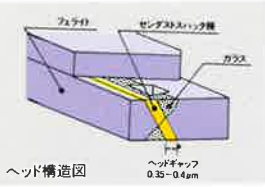
（EDベータフォーマットの素性の良さを最大限に引き出すメタルテープ採用。）

8.6MHzにもわたるハイバンド化はハードウェアの高性能化だけで果せるものではありません。ハイバンド特有の超高域の映像信号をこれまで以上のクオリティで正確に記録・再生できる高エネルギーテープが必要不可欠の条件

になります。そこでソニーは、8ミリビデオやDATで培ったテープ技術を投入。家庭用1/2インチビデオとしてはじめてメタルテープを採用しました。驚くべきことに磁気エネルギーは従来のテープに比べて約4倍も向上。とくに問題となる超高域の特性も約2倍アップし、EDベータフォーマットの緻密な映像情報を余すことなく記録できます。またメタルテープの採用でカラー信号SN比や輝度信号SN比も大きく向上。EDベータが描き出す鮮明画像に一層磨きがかかっています。

（メタルテープの優れた特性を引き出す）TSS (ティルトッド・センダスト・スパッタ) ヘッド。

メタルテープは全帯域にわたって優れた出力特性を誇りますが、反面記録するには強力な磁界が必要となります。このため通常のフェライトヘッドでは簡単に飽和してしまい、その能力を十二分に引き出すことができません。そこでソニーはフェライトヘッドの飽和しやすきギャップ近くに、記録電流をたくさん流せ、再生効率も良いヘッド素材「センダスト」を斜行 (スパッタ構造) して設置。フェライトの耐久性とセンダストの優れた特性を併せもつTSS (ティルトッド・センダスト・スパッタ) ヘッドを開発しました。その結果、最短0.75μmに及ぶ超高域信号を正確にキャッチするなど、EDベータフォーマットが要求する高密度記録を高い次元でクリア。メタルテープの特性をフルに引き出しています。さらに従来テープを再生する場合も、これまで以上の鮮明画像でお楽しみいただけます。

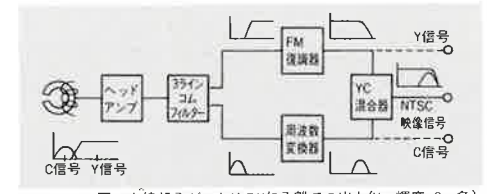


（安定したテープ走行を実現。ジッター発生を大幅に抑えたテープスタビライザー。）

サブミクロン領域の微細な映像信号をカバーするEDベータフォーマットにとって、安定したテープ走行は重要な開発テーマです。そこでEDベータフォーマットではテープがヘッドドラムに突入する入口に慣性モーメントの大きいガイドローラーを設置。見かけ上のテープ質量を増大させることで、メカ振動の影響を抑えるテープスタビライザー機構を採用しています。これにより、画質に悪影響を及ぼすジッター発生やクロマ信号の色ムラを大幅に低減。ダビング編集特性も飛躍的に高めるなど、高品位な映像を実現しました。

（輝度信号 (Y) と色信号 (C) の相互干渉を低減する。）Y/C分離入出力端子 (S映像端子)。

一般のビデオ端子では輝度信号 (Y) と色信号 (C) が混合して出力されます。このため、ビデオデッキやテレビの内部で混合・分離の複雑なプロセスを経なくてはならず、Y信号とC信号の相互干渉の原因となってきました。そこでEDベータではY/C分離入出力端子 (S映像端子) の装備によりこれまで避けられなかった両信号の干渉を低減。Y/C分離端子付テレビとの組み合わせでクロスカラーやドット妨害のない、鮮明な画像を実現しています。

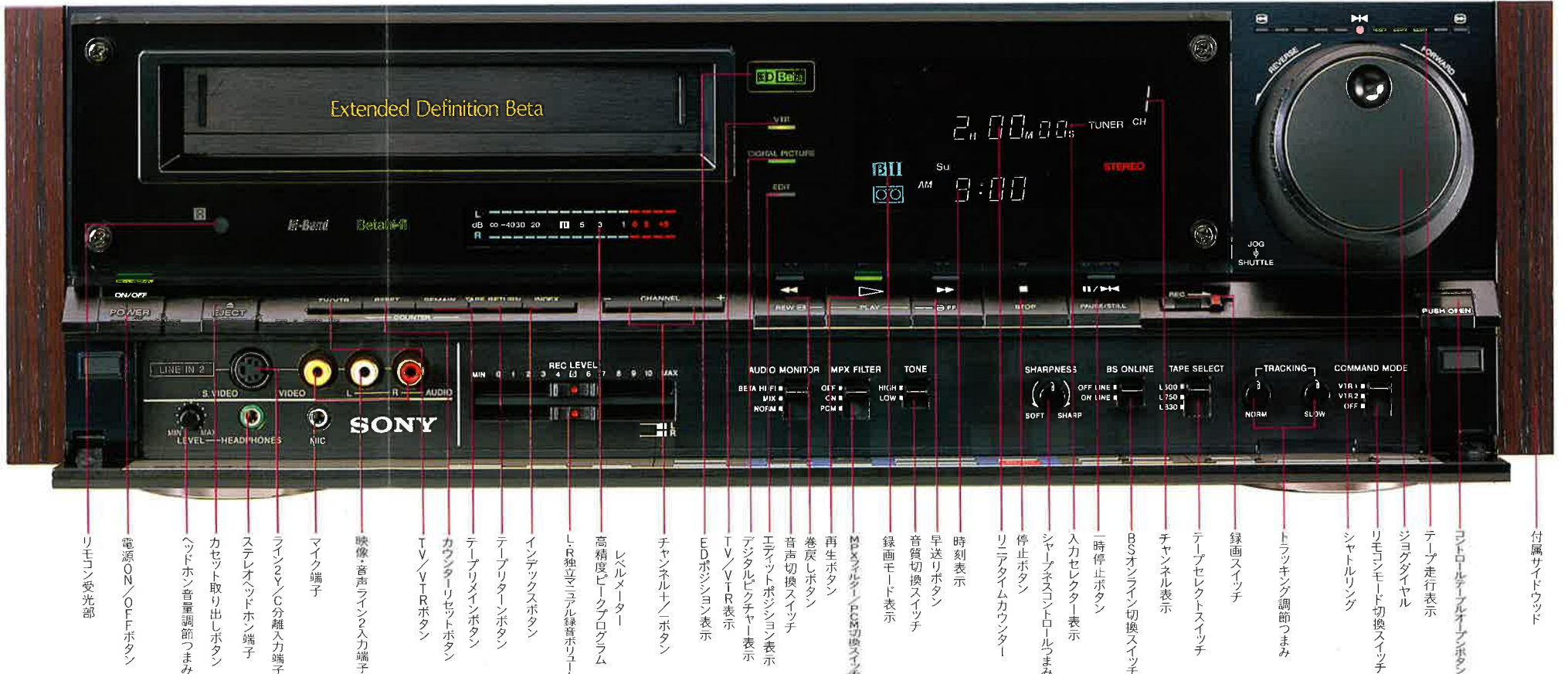


（メタルテープの採用でさらにクオリティアップ。ダイナミックレンジ90dB以上を実現したメタルベータハイファイ。）

EDベータに搭載した先端技術のいくつかは高画質化だけでなく、高音質化にも大きな威力を発揮します。例えば記録能力を大幅に向上させたメタルテープの採用はそのまま音質の高品位化に直結。また、安定したテープ走行を約束するテープスタビライザーは音質上有害な変調ノイズを低減し、純度の高いサウンド再生を可能にするのです。これら新しい技術の投入により、ベータハイファイサウンドが一段とブラシュアップ。90dBを超える広大なダイナミックレンジや20Hz〜20kHzまできわめてフラットな周波数特性など、オーディオとしての基本特性をいっそう高めています。もちろん、高性能HALフィルターやセラフインコンデンサー、そして低損失・高効率を誇るショットキー・バリアー型整流素子を搭載した高速度安定化電源など精選されたデバイスもふんだんに投入。さらに、従来、最高級デジタルオーディオで使用していた極太・硬質電源コードも採用するなどトータルにわたって本格的なオーディオ仕様としています。

（従来ベータテープとの互換性について。）

EDベータはメタルテープ専用のビデオデッキではありません。従来のベータテープでも5.6メガ・ハイバンド (II・IIIモード) の高画質で録画することが可能ですし、ハイバンド記録にかかわらず、あらゆるベータテープを再生することができます。むしろ、テープスタビライザー、高性能TSSヘッドなどの高画質技術の複合化により、一段とクオリティの高い録画・再生がお楽しみいただけます。



圧倒的な高画質をクリエイティブに使いこなす。編集機能に一層の磨きをかけたプロ9000。

（ テレビ画面に、時・分・秒・フレーム数まで
正確に表示するリアルタイムカウンター。 ）

クオリティの高いビデオ編集を行うためには、カウンターにも
ハイレベルの精度が要求されます。そこで本機ディスプレイ
内のリアルタイムカウンター（秒単位表示）に加え、データス
クリーン上にフレーム単位でテープ走行を表示する高精度

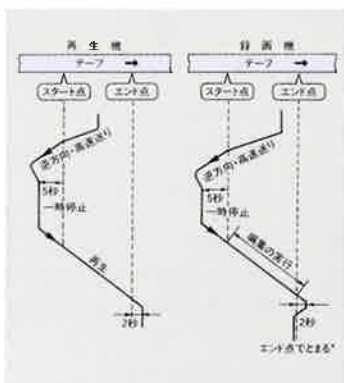
（ 高度な編集プレイが楽しめる
8イベントプログラムエディット機能。 ）

録画済テープの中から必要なシーンだけをつなぎ合わせたり、順序を入れかえたりするアセンブル編集を大幅に自動化した機能です。データスクリーン上の表示を見ながら

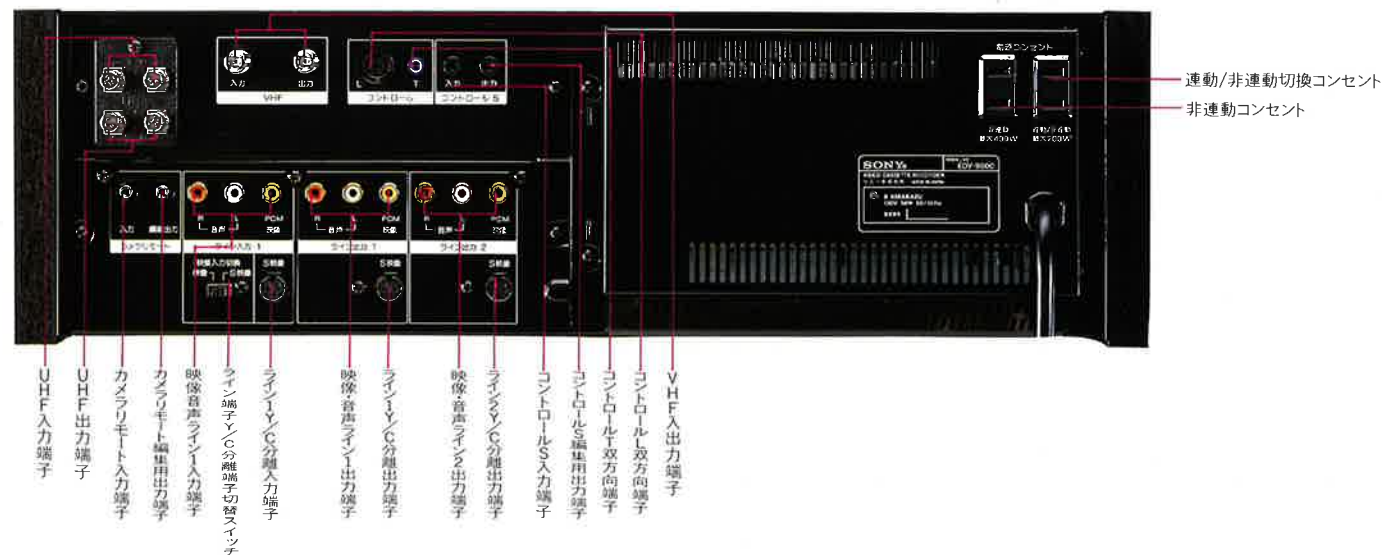
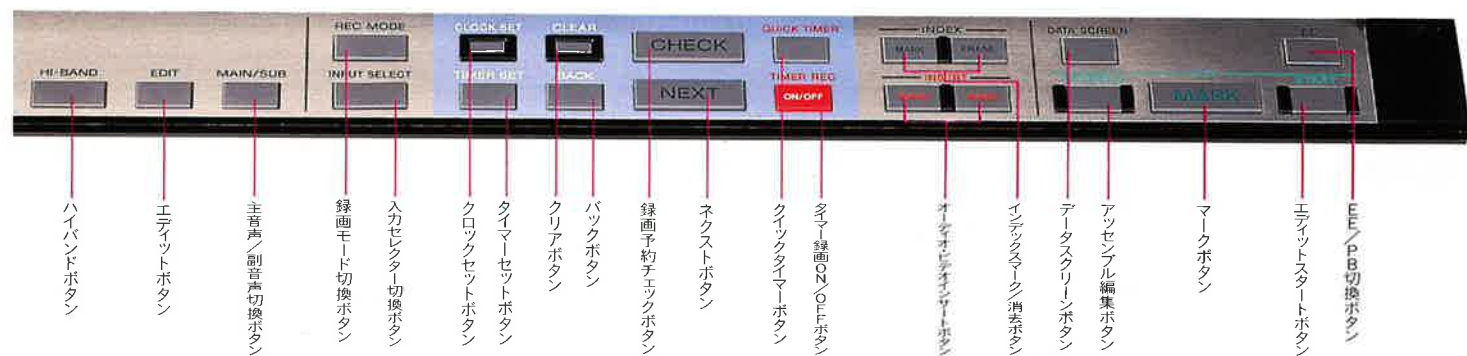
（録画済テープの任意の区間に新しい映像や音声を入れて
挿入できるビデオ/オーディオインサート機能。）

もう1台のベータマックスから録画済テープの好みの区間へ、別の映像や音声を入挿入できる機能です。本機を録画側にセツト。録画側テープの中から新しいソースを入れかえたい区間を指定すれば簡単操作でインサート編集が行えます。しかも、インサート方法は目的に合わせて3タイプ。映像はもちろん、ハイファイ音声・ノーマルトラックもそっくり入れかえるAVインサート、映像とハイファイ音声を入れかえるビデオインサート、ノーマルトラックの音声だけを入れかえるオーディオインサートの中から自由に選択することができます。

●ジヨグ/シャトルなどを使って編集ポイントを探している間、変速再生の画像と同時にノーマルトラックの音声もモニターできるノーマルトラック音出し機能。●編集モードに入ると自動的にエディットポジションに移行するオートエディット機能。●相手機が編集ポイントで待機していないと「リロール編集」が実行できない保護機能。●「リロール編集」が可能なコントロールD端子やベータブロー3000などと組んで自動編集が楽しめるコントロールS端子、さらにコントロールS端子など手軽に編集プレイが行える豊富な編集用端子を装備。



録画済テープの中から必要なシーンだけをつなぎ合わせたり、順序を入れかえたりするアッセンブル編集を大幅に自動化した機能です。データスクリーン上の表示を見ながら



優れた基本性能がもっと身近で使い易くなる。機能・操作性も高い次元で追求したプロ9000

本体に搭載したほとんどの機能を離れた場所から自在に操れる多機能ワイヤレスエディターを装備しています。電源の入/切、ジェクト録画、再生といった基本動作はもちろん、ジョグ/シャトルを使った変速再生やデジタルピクチャー機能、さらには8イベントプログラムエディットをはじめとした編集機能までコントロール可能。従来のリモコンとは明らかに一線を画した堂々たるコントロールセンターです。

ビデオオペレーションに格段の進歩をもたらしたデータスクリーン機能を装備。これにより、①録画・再生・スチル・スローなどのビデオの基本動作や、②時・分・秒・フレーム数まで正確に表示するリアルタイムカウンターやプログラムタイマーの予約状況といったオペレーション情報、さらに③テープリメイン、タイムサーチなどの機能の表示や編集集スタートポイント/終了ポイント、ラップタイムなどの編集情報をテレビ画面にディスプレイ。多彩な機能がよりユーザーに採れます。

さ来週の土曜日まで最高8番組の録画予約がデータスクリーンやジョグダイヤルを使ってスピーディにセットできます。しかも同時刻・同チャンネル番組の毎日録画、日曜ぬきの毎日録画などの便利なモードの採用で番組組の予約がいつでも簡単になりました。また、衛星放送対応としてBSオンライン機構も装備。BSチューナーと連動して録画用タイマーが使用できるため、衛星放送の留守録も自在に楽しめます。



●コマ録り機能：録画ポーズ状態でもう一度録画スイッチを押すと約7フレーム分(0.23秒)のコマ録りが可能。アニメーションなどに便利です。●シャープネココントロール：簡単なつまみ操作で再生画像の輪郭をシャープにしたり、ソフトにしたりと微妙なメリハリを調節できます。●エディットポジション：ワンプッシュのボタン操作で編集用に最適化した信号を送り出せます。●EE/PB切換機能：テープの再生中やビデオ編集中に内蔵チューナーで受信した放送や再生側デッキの再生画・再生音が確認できます。●RECEIVE PAUSE / PLAY PAUSEダイレクト切換機能、ポーズ状態のまま録画モードから再生モードの切換可能。テレビ

録画時CMカットなどに便利です。●サイマルキャスト録画：テレビ番組の録画・録音をしながらステレオやFMチューナーなど外部機器からの音をベータハイファイ録音することができます。●MPXフィルター：エアチェック時にチューナーから侵入するノイズを軽減します。●インプットセクター：4種類の入力モード(ライン1/ライン2/チューナー/サイマルキャスト)をすばやく選択できます。●クイックタイマー録画：ワンタッチのボタン操作で30分単位に最高5時間まで録画セットできます。●カウンターリセット：タイムカウンター「00H00M00S」表示にワンタッチでセットできます。●オートプレイ：テープの頭まで巻き戻した後、自動的に再生をはじめます。●テープリターン：タイムカウンター「00H00M00S」の位置へ瞬時に早送り・巻戻しが可能。テープリターン中

に再生ボタンを押せば、「0H00M00S」の位置から自動的に再生します。●マニアライクなL・R独立マニュアル録音レベルボリュームにより微妙な録音レベルの調節が可能。また、16セグメントLED表示のピークプログラムメーターも装備。●テープカウンターと現在時刻を同時表示する集中2連表示の大型ディスプレイ。インデックスナンバーや録画モード、テープ残量といった操作情報も一括表示。●2系統のビデオ入出力端子。1系統はフロントパネルに装備。●PCMデジタル録音・再生に対応したPCMスイッチ。●音声アフレコが楽しめるマイク入力端子。●レベルボリューム付のヘッドホン端子。●1台のワイヤレスエディターで2台のベータマックスが操作できるVTR-1/2リモコンモード切換スイッチ。●ステレオ/メイン/サブの音声モード切換スイッチ。

ED Network

ED Beta

EDベータで衛星放送を録る、これが今一番進んだエアチェックの姿。EDベータ・プロ

9000は次世代の高画質メディアにも余裕をもって対応します。



名作映画劇場やスポーツ番組の完全中継、そして高音質の音楽番組など。衛星放送システムは、宇宙空間に浮かぶ放送用衛星を使って24時間フルタイム魅力的な番組を送り続けています。この衛星放送で特に注目をあつめているのが、グレードアップした画質と音質。

ゴーストがなく、解像度がさらに高まった映像美とDATと同様のフォーマットにもとづく素晴らしいハイファイ音声を実現しています。

これはEDベータにとって格好のエアチェックソース。

水平解像度500本・ダイナミックレンジ90dB以上の優れた特性を生かし、衛星放送のクオリティをまるごとキャッチできます。さらにEDベータなら、

水平解像度480本のEDTVなどの将来の高画質メディアにも余裕をもって対応します。

① 水平解像度560本・2000文字対応を実現。Y/C分離入力端子（S映像入力端子）も装備した新プロフィール・プロ。KX-27HV1S ¥278,000 ② 衛星放送のクオリティをフルに発揮させる高画質・高音質設計のBSチューナー。SAT-11R ¥89,800 ③ 電波の比較的弱い地域でも衛星放送を鮮明にキャッチ。70cm高感度パラボラアンテナ。SAN-702 ¥39,000 ④ 入力部にHEMT（ヘテロ接合ガリウム砒素FET）を採用した低雑音BSコンバーター。SAC-12 ¥35,000



S映像端子付ビデオが最高4台まで接続・相互ダビングできるAVセレクター。SB-V700 近日発売

他の赤外線リモコンの操作モードを最大10個までメモリー可能。学習機能を装備したリモートコントロールユニット。RM-E1V 近日発売



21ピンアナログRGB端子付モニターにY/C分離信号を入力できるアダプター。YR-421 ¥14,800 近日発売

家庭用1/2インチテープとして初めてメタル磁性体を採用。EDベータの実力を最大限に引き出す“ED-Metal”。

これまでにない鮮明な映像美をもたらしたEDベータ。この美しさはハードウェアの高性能化だけで果せるものではありません。ハイバンド特有の超高域の映像信号をこれまで以上のクオリティで正確に記録・再生できる高エネルギーテープが必要不可欠の条件となります。そこでソニーは8ミリビデオやDATで培ったメタルテープ技術を投入。EDベータが秘めた高いポテンシャルをフルに引き出す、家庭用1/2インチビデオ初のメタルテープ、“ED-Metal”を開発しました。

ハイバンドの超高域信号を正確に記録・再生する超微粒子磁性体“DIGNAX”。

EDベータ用として全帯域にわたって優れた特性をもつメタル磁性体を開発。それが世界最小レベルの粒子サイズ0.16μmを実現した超微粒子磁性体“DIGNAX”です。驚くべきことに磁気エネルギーは従来比で約4倍に向上。特に問題となる超高域での出力特性

も2倍もアップし、EDベータ特有の緻密な映像情報を余すことなく記録・再生することが可能になりました。

テープの表面粗度を向上させた新平滑化技術。“ED-Metal”では新平滑化技術の投入によりテープの表面粗度を約20%（Master PRO比）も向上。高密度記録に伴うスペーシングロスの影響を可能な限り追放し、より鮮明な画像を実現しています。

信頼性と耐久性を高めた新バインダーシステム。メタルパウダーの分散性を高度に保ちながらバインダーと特殊結合させることで画期的な強度を実現。この新バインダーシステムと高度な混合分散技術により高信頼性・高耐久性を獲得しました。

●8ミリビデオテープで確立したUST処理によりドロップアウトを低減。●安定したテープ走行を約束するπ-UPバックコート処理。●チリやホコリを寄せつけない永久帯電防止リッド。●便利な誤消去防止プラグ。



ED-Metal

EL-500 ¥3,500

EL-250 ¥2,800